

正式にこの計画が発表されるのは、多分このFAX通信が発信される25日ではありますが、木更津商工会議所荒井会頭のご厚意で予想される大筋について話して下さったのでご了解を頂いて書かせて頂きました。(イオン木更津の詳細な数字は後日新聞発表等をご覧下さい。)

先ず規模・・・商圏は南房総70万人(茂原、東金辺り?)と南房総観光流入人口3,300万人をターゲットとして年間入場者目標1,200万人としております。開場は来年秋ごろ予定されております。

現在私共の目を引く形態はイオンモールとしては全く新しい発想で、多機能なレジャー施設等を包含したモールを特長としており、観光流入人口の新しい遊び場と趣味のゾーンによって大量の客を誘導する構図です。

先ず目についたのは①ペットゾーンであります。房総最大級体験型ミニ動物園を中心に、動物病院、ペットホテル、ドッグラン、預り所、ペット洋服店、ペット専門店、犬自慢交流サロン、犬の結婚相談所等があります。②キッズパークでは子供たちの遊びに付加価値と安心安全を与える機能として子供達が安全に水遊びやソリができる公園広場、保育所を含めた英才教育施設、アイドル、ブランドの子供服売り場等、大人達も引き込まれる楽しい仕掛けがある様です。

私の予想ですが、このパーク内には『育爺』『育婆』の施設があり、読んで字の如しと言われますが、シニア世代が楽しめるアイデアが用意されていると思われれます。③レジャーとスポーツを連動させたフィットネスとして巨大ジャングルジム、プール、サバイバルゲーム、バーチャルトレーニング、木更津港での釣りを楽しみ、レンタルBBQもあると言われております。こうした多彩なレジャースポーツワールドを持ち、その2階のシネマ街には12程度のスクリーン数を備えるシネコン(複合映画館)が入ると伝えられておりますので映画街としては最大級であります。④モーターガレージは、電気自動車、オープンカー、バイク、サイクルのレンタル、整備、最新の自動車の展示場等があります。⑤レストランゾーンに隣接して房総フードゾーンがあり、房総1市町村1店サテライト店が入れるゾーンが用意されております。地元食材を使ったカフェ、レストランと産直、物産店であります。その2階の図面のスペースを『THE FISH』と記入されておりますが、何を意味するか気になります。(金谷?)『GMS』については直営と表示されているだけです。詳細については記載されておりました。多分、25日以降にはかなり明らかになると思われれます。こうした多様な選択肢を持つイオンモールは単純計算ですが入場人口目標1,200万人、平均一人5,000円消費すれば年間600億円であります。私達もイオンモールにどう対抗するかでなく、3,300万人観光流入人口をどう活用するかであります。観光客一人あたりのGDPは10,000円あります。

